

## 第2期総合戦略 委員質問への回答

No	基本目標名	質問者	質問内容等	回答内容	参考資料	回答課																																		
1	1 働く場の創出・人材育成』	皇學館 板井正斎	内部評価の内容はおおむね妥当と考えます。「大学ゼミ合宿支援補助金」「地域課題解決調査研究事業補助金」へ申請のあった内訳を差し支えない範囲で教えてください。分野や地域、規模等。	<p>1-6（挑戦人口の創出関係）          （大学ゼミ合宿支援補助金）          令和6年中の申請件数は現時点で8件です。申請内容の主な内訳は次のとおりです。          分野：海女や漁業の継承問題、インバウンド観光の現状、海洋漂着ごみ問題          地域：離島、漁村地区          規模：大学ゼミ合宿の規模としては10数名の申請が多く、最大で47名の申請があった。</p> <p>（地域課題解決調査研究事業補助金）          令和6年中の申請件数は現時点で13件です。申請内容の主な内訳は次のとおりです。          分野：海女や漁業の継承問題、人口減少、SDGs、防災などに関するテーマが多かった。          地域：離島、漁村地区、市街地          規模：地域課題解決調査研究の規模としては10名前後の申請が多く、最大で47名の申請があった。</p>		観光商工課																																		
2	1 働く場の創出・人材育成』	ZTV 大西伸正	コロナ禍以降、漁業連携の進捗が好転していることが評価できる。 65歳以上の就労者はどの程度なのか？個人差もあるが65歳～70歳の方々が毎日ではなくても就労できる環境が整備されていると良い。	<p>営業収入・給与収入の申告データでは、令和5年度の65歳以上の就労者は約39.8%となっており、令和2年度との比較して横ばい・微増となっています。          全体では0.5ポイント減少していることから、65歳以上人口となっても継続して就労している方が多く見られる状況です。          農漁業やサービス業のみならず、様々な分野で高齢になっても継続していきいきと活躍できる環境整備を進めています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">全体</th> <th colspan="3">65歳以上</th> </tr> <tr> <th>人口</th> <th>就労者</th> <th>割合</th> <th>人口</th> <th>就労者</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>16,838</td> <td>10,095</td> <td>60.0%</td> <td>6,880</td> <td>2,737</td> <td>39.8%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>18,036</td> <td>10,911</td> <td>60.5%</td> <td>7,011</td> <td>2,776</td> <td>39.6%</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>-1,198</td> <td>-816</td> <td>-0.5%</td> <td>-131</td> <td>-39</td> <td>0.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 人口…住民基本台帳各年12月31日を基準とした。          * 就労者…営業収入・給与収入のいずれかがある方を対象。</p>		全体			65歳以上			人口	就労者	割合	人口	就労者	割合	R5	16,838	10,095	60.0%	6,880	2,737	39.8%	R2	18,036	10,911	60.5%	7,011	2,776	39.6%	増減	-1,198	-816	-0.5%	-131	-39	0.2%		企画財政課
	全体			65歳以上																																				
	人口	就労者	割合	人口	就労者	割合																																		
R5	16,838	10,095	60.0%	6,880	2,737	39.8%																																		
R2	18,036	10,911	60.5%	7,011	2,776	39.6%																																		
増減	-1,198	-816	-0.5%	-131	-39	0.2%																																		

NO	基本目標名	質問者	質問内容等	回答内容	参考資料	回答課
3	2 新しいひとの流れ・ひとの交流	皇學館 板井正斎	<p>内部評価の内容はおおむね妥当と考えます。鳥羽市の戦略として特に重要な目標と捉えますので、外部要因の影響を考慮しつつ、期待を込めた進展度と理解します。</p> <p>2-4関係人口の創出のうち、学生等をターゲットにしたワーキングホリデーの反応など教えてください。</p>	<p>ランディングページへのアクセスは月平均75ビューフォーム程度となっています。また掲載事業所への聞き取りを行っていますが、リンク先がインディードの求人ページとなっているので、どの程度の効果があるかは分かりかねます。ユーザー属性として、名古屋、大阪、四日市、伊勢が多くなっているので、ターゲットとなる近隣の大学生からのアクセスではないかと思われます。</p> <p>平均エンゲージメント時間も46秒と長くなっているのもしっかりと見てもらえていたと考えています。今後は、インディードだけではなく、おでつ旅などのサービスとも連携していきたいと考えています。</p>		企画財政課
4	3 誰もが活躍できるまち	皇學館 板井正斎	<p>内部評価の内容はおおむね妥当と考えます。多くの指標でA評価を出しており鳥羽市の強みと理解します。</p> <p>3-2三重大学教育学部地域推薦学生奨学金は実績値がないとのことですが要因と、今後の展開について教えてください。</p>	<p>奨学金制度の要件に該当する学生がいなかったことが要因です。学校に対し制度の周知を行うことなどに加え、教員を志望する生徒が現状でどれくらいいるのかなどを学校に聞き取りの上、今後の方針について協議していきたいと思います。</p> <p>※奨学生対象要件：市内在住であり、市内高校から三重大学教育学部へ進学する者。卒業後は小学校教員として本市に在住すること。</p>		教委総務課
5	4 地域経営の視点に立ち、時代に合ったまちづくり、安心した暮らしの確保	皇學館 板井正斎	<p>内部評価の内容はおおむね妥当と考えます。</p> <p>【再掲】「大学ゼミ合宿支援補助金」「地域課題解決調査研究事業補助金」へ申請のあった内訳を差し支えない範囲で教えてください。分野や地域、規模等。</p>	<p>(4-6に掲げる大学・企業との連携関連)  「大学ゼミ合宿支援補助金」「地域課題解決調査研究事業補助金」の実績については、NO. 1にお示しのとおりです。</p>		観光商工課

NO	基本目標名	質問者	質問内容等	回答内容	参考資料	回答課
6	4 地域経営の視点に立ち、時代に合ったまちづくり、安心した暮らしの確保	公募委員 今井緑	経営者の立場ではなく、現状を十分に理解できる立場ではないので「現状はどうですか？」と質問したいと思います。そのうえで、ぜひ企業家、経営者として各項目について取り組んでもほしいと思います。	<p>時代の変化に応じたまちづくりに向けた取組として、防災対策の充実、コミュニティ形成支援、公共交通の取組、地域資源の高付加価値化や環境に配慮したまちづくり等を進めています。</p> <p>現状評価としては、市民アンケート結果が示すように、「住みやすい」と感じていただける市民の方の割合は低下傾向にあることなどから、大きな進捗があったとは言えないと評価しています。</p> <p>現状分析をしっかり行い、限られた人員・予算をどのように配分していくか、皆様のご意見を踏まえながら経営の視点を持った計画的な行政運営を進めています。</p>		企画財政課